

# 教学 IR 室 広報誌 *Bloomin'*



第3回学長ワークショップ【経営学部】



経営学部経営学科



看護学部看護学科



短期大学部健康栄養学科



短期大学部保育科



## 教学IR室 Ring 実施状況

### 「教学IR室 Ring」フィードフォワードシート

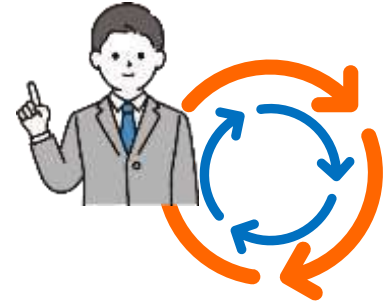
第7回 座談会 (2024年12月19日実施)

第35回レポート「2024年度前期の授業評価アンケートにおける事前事後学習時間について」

#### 【検討課題】

	内容	機関	課程
1	各種データの正確性を得るため、以下について検討		
①	①学習達成レビューシート ②授業評価アンケート ③面談シート ④教職員の自己評価アンケート 以上4点について意義の確認および実施の際のルール化 (配信時期・対象等を明確にした一覧表の作成)	REC	教育改 革委員 会

前号で取り上げた第35回レポートについて、左記4つの項目について執行部会から該当レベルに改善指示が出されました。引き続き進捗状況の確認をしてまいります。



## 第3回学長ワークショップ

### キーワードは「つながり」

2025年1月22日、今年度第3回目は経営学部のアスリート達を中心とした23名が参加し、ワールドカフェ形式により話し合いを進めました。

#### ★魅力・価値について

- ・ボランティア、ACP、イベント開催等、**地域との関わり**が多くあり、**先生と学生との距離が近い**大学
- ・先生が親しみやすく、自然豊かで、**勉学やスポーツに打ち込める環境**がある。
- ・クラブ活動が盛んで全国から人が集まり、**新たなつながりが生まれる**。等

今年度実施したワークショップはすべて同じテーマで行い、それぞれ学部のカラーがみられました。共通して「**教員との距離の近さ**」が挙げられたことは喜ばしく、引き続きより一層本学の目指す方向に進むことができるよう尽力してまいります。

在  
学  
生  
か  
ら  
観  
た  
「**本学の魅力・価値**」とその進化・深化  
〜本学の魅力と価値について語り合おう!〜



## 第9回 中津川市域学連携成果発表会

2月8日ひと・まちテラスにて、本学と中津川市との共催で、十二校(東京科学大学、中津商業高校、名古屋工業大学、岐阜市立女子短大、大正大学、坂下高校、富山大学、中津高校、名古屋外国語大学、中京学院大学、恵那高校、筑波大学、報告順)と1団体(加子母木匠塾)が参加、中津川地域での活動や研究が報告されました。

本学からは経営学部の教養ゼミの活動「地域企業・団体等と連携した課題解決型授業の取組」で、「中津川市役所政策推進課グループ(報告者:成瀬匠真さん、河合剛志さん)」のアンケート分析報告と「中津川市社会福祉協議会グループ(報告者:久保田菜奈さん、中村朱里さん)」の活動・分析報告でした。アフターセッションでは、中津川のお菓子もあり、研究・活動交流の広がる成果発表会でした。

なお、当日の様子を、中津川市社会福祉協議会のホームページ「中京学院大学生が福祉の取り組みを発表しました〜中津川市域学連携成果発表会〜」でも大きく取り上げていただきました。

# グッドプラクティス表彰制度スタート

試行

## 目的

グッドプラクティス表彰制度の確立を通じて、コミュニケーション力の指標(7項目)\*に基づく教職員の基本的教授姿勢の浸透を図り、教育力の向上を図ると共に建学の精神に基づく教育基盤確立につなげること

- ※ ①挨拶する ②時間を守る ③伝える ④言語メッセージを聴く ⑤非言語メッセージを聴く ⑥全身で受け止める  
⑦場面に応じた問いかけ

## 目標

- ・コミュニケーション力の指標、全7項目レベル4達成教員10名以上(授業評価アンケート)
- ・シラバスの改善、工夫に対する取り組み、教員の80%以上(学習達成レビューシート)
- ・グッドプラクティス表彰対象者毎年3名以上選出

2025年度からは教学推進部を中心に  
本格始動予定!!

上記に基づき、全専任教員対象インタビューシート・授業評価アンケート・講義見学を実施し、対象者を選出。  
栄えある2024年度のGP賞は・・・経営学部;相場恵先生、看護学部;平工淳子先生、短期大学部;江畑慎吾先生でした!  
その中から、看護学部 准教授 平工淳子先生 にインタビューさせていただきました。

## 【受賞の感想】

私が? なぜ? 大変驚いている。

## 【授業で工夫していること】

「わかりやすさ」を念頭に置き、パワーポイントの資料は図や絵、写真を取り入れるなどしながら時間をかけて丁寧に作り込んでいる。

週1回、老年領域の会議を行っており、他の先生方のアドバイスや意見交換をもとに毎回授業内容を検討、ブラッシュアップしている。1コマで学生に伝えたい情報がたくさんあり、ポイントを絞ることが難しくディスカッションの時間がとれないこともあり。時には早口になってしまうこともあるが、学生の目を見て確認しながら当てるなど理解を深めるようにしている。

また、学期の中で授業内容のテーマ別にテストを実施し(3回)、フィードバックすることで再試対象者も減少傾向にある。出欠カードにコメント欄を設け、授業でわからなかったこと等を書いてもらい、次回に全体共有している。毎回の講義目標に対する理解度にも〇をつけてもらっている。

## 【学生への接し方】

自身の学生時代は指導者が厳しく普段の自分を出すことができなかったため、本学の学生にはそうならないよう気を付けているが、ともするとなれあいになってしまう面もあり関り方は難しい。

授業では演習や事例を通して、患者さんへの理解と看護をどう捉えるのかについて、その答えを学生が自分で考え、汲み取り、実践を対象に応じた看護を実践できるような力がつくよう促している。



- ◆専門分野:老年看護学
- ◆担当科目:看護学ゼミナール、卒業研究、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習



第4回 東濃5市ミーティング開催  
(2025.2.20)



## 経営学部教員による刊行!

林学長が編者となり、これまでの全学的な教学改革の歩みと経営学部の新カリキュラムの実践事例等を取り上げた書籍『地方小規模私立大学の挑戦—地域社会と協働する教育—』が風間書房より出版されました。書籍の中で本学が全学的に力を入れているプレゼンテーション大会に加え、経営学部の特色的な学びであるドローンや ACP 等の教育が具体的に紹介されています。この機会にぜひご一読いただけますと幸いです。



画像引用:地方小規模私立大学の挑戦  
—地域社会と協働する教育— 林 勇人(編著)風間書房,  
[https://www.kazamashobo.co.jp/products/detail.php?product\\_id=2561](https://www.kazamashobo.co.jp/products/detail.php?product_id=2561) (2025年3月18日アクセス)

【目的】本学および本学と包括連携協定を締結している中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市・多治見市(東濃5市)の抱えている課題と現状を共有し、解決を図る。※年4回

今回は経営学部の現状・課題について議論し、人口減少が共通の課題であった。若者の流出を食い止めるためにも、この地域で学ぶ意義・意味を明確にし、今後も各市とつながりを深めながら取り組んでまいります。



# Pick up! IRレポート



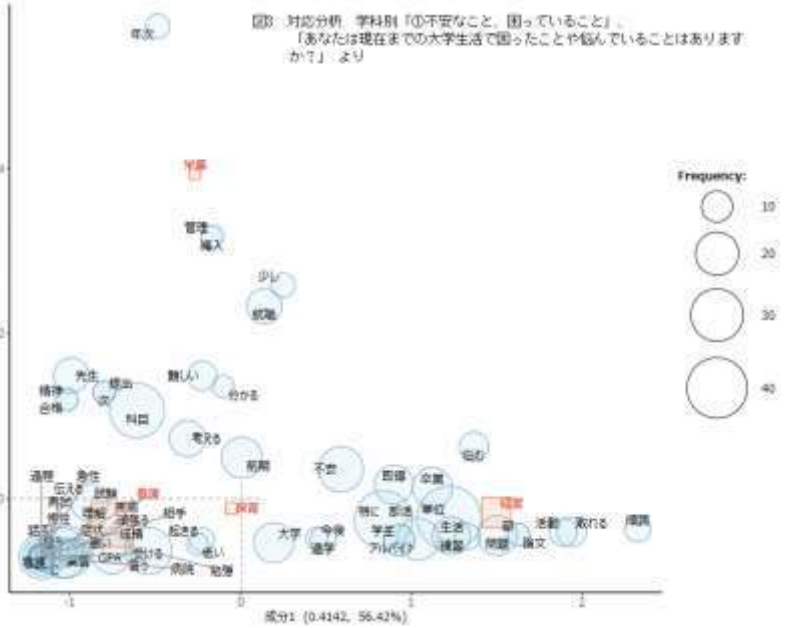
IR室第37回レポートでは、「面談指導におけるキーワード抽出 より良い面談指導の構築に向けて(4)」というテーマで分析を行いました。具体的には「段階的面談指導(GPA2.0未満)」と「アカデミックアドバイジング(経営学部1年生全員実施ですが、分析対象はGPA2.0未満)」面談記録シートのテキストデータをもとに、対象となった学生の不安なことや困ったことを分析、さらに教員がその指導をおこなった状況を分析してきました。結果については同レポートに結果が出ていますのでお読みください。

分析対象とはなっていませんが、中途退学除籍防止対策という視点から見ると、このデータの利用実態も気になるところです。そして教学IR室で大きな話題となったことは、面談実施状況(面談記録シートの回収)が悪いことです。様々な理由が考えられますが「段階的面談指導」と「アカデミックアドバイジング」が有効的に機能するよう、足元の見直し(面談記録を正確に提出するなど)が必要であると今までの自分を振り返ることもなりました。皆さんは、同レポートをどのように受け止めましたか。ぜひご意見をお願いします。

【①不安なこと、困っていること】および【あなたは現在までの大学生活で困ったことや悩んでいることはありますか?】を対象とした分析  
表! 頻出語100(全学科で集計)より

【教学IR室第37回レポート, p2,5より】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
単位	46	話す	14	家族	7	不足	6
特に	37	学習	13	気	7	本人	6
科目	33	感じる	13	再試	7	来る	6
思う	29	試験	13	願望	7	理由	6
実習	27	先生	13	医学	7	C	5
授業	26	学生	10	病院	7	GPA	5
困る	24	休期	10	理解	7	過程	5
勉強	24	成績	10	練習	7	管理	5
友人	23	相談	10	監督	6	基礎	5
今	22	多い	10	頑張る	6	期間	5
不安	22	復活	10	起きる	6	休む	5
看護	21	悪い	9	苦手	6	急性	5
アルバイト	19	取れる	9	現在	6	見る	5
関係	18	人	9	高校	6	行う	5
前期	18	難しい	9	履修	6	行く	5
言う	17	悩む	9	疾病	6	合格	5
卒業	17	履修	9	取る	6	今後	5
大学	17	課題	8	出来る	6	次	5
問題	17	活動	8	少し	6	許める	5
自分	16	気持ち	8	症状	6	出る	5
取得	16	受ける	8	状況	6	人間	5
試験	15	出席	8	親	6	精神	5
生活	15	心配	8	伝える	6	前	5
考える	14	個性	8	内容	6	相手	5
良い	14	来	7	年次	6	知る	5



## ▼上記に関する教職員座談会での意見(2025.3.12実施)

- ・アカデミックアドバイジングについてどのように広げていくのか、学生カルテなど面談記録をどのように扱い共有しているのかをうまく活用することが中退者の減少につながる。
- ・実習前後のフォローはアドバイザーのみならず皆で連携する必要あり。
- ・退学の意思が固まる前の予防策として相談できる仕組みづくりが必要。
- ・退学理由をしっかりと聞きだすことで今後に活かせるのでは?学生の中には本音とは異なる理由を言う者もいるため、学生の信頼を得ることが大切。
- ・夢を抱いている入学時の早い段階で専門職の魅力を伝えることができるとよい。
- ・実習や資格のタイミングがきっかけとなり退学となることがあるため事前対応に重きを置く。単位取得率との関連性を分析することで学生支援のサポートにつながるのではないか。
- ・GPA2.0以下の学生を面談→教務→IR室という流れはあくまでカタチであり、必要に応じてアドバイザー、ゼミ・科目担当、クラブ監督・コーチ、職員等による対応も必要である。等



令和7年3月15日 瑞浪市総合文化センターにて、令和6年度学位授与式が行われました。

経営学部経営学科 92名、看護学部看護学科 44名、短期大学部健康栄養学科 31名、短期大学部保育科 47名、計214名の卒業生がそれぞれの想いを胸に、新たな一歩へ向けて旅立ちました。ご卒業おめでとうございます!! Here is second home for you.

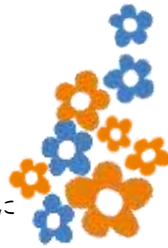


皆様のご意見・ご感想をお寄せください



### Bloomin'とは?

種を蒔き、芽が出て膨らみ花開くように、  
教学IR室の様々な発信が本学の発展につながるようお願いをこめてつけました。



編集・発行

中京学院大学

教学IR室 広報誌 *Bloomin'*

第8号 2025年3月31日発行

〒509-9195 岐阜県中津川市千旦林 1-104

TEL : (0573)66-3121

URL : <https://www.chukyogakuin-u.ac.jp/>

E-mail : [ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp](mailto:ir-room@chukyogakuin-u.ac.jp)